

鳥獣問題

問 村内での熊出没が多いが

答 住民の生命と安全を守りたい



柏原 良章 議員

【有害鳥獣被害対策について】

特定猟具禁止区域解除の今後対応は。

特定猟具禁止区域は銃猟使用禁止区域で村内3カ所ですが、東山地区では猪や鹿等の被害が増加しているため、県等との協議をして順次除外していきます。

春熊猟禁止期間が長く被害が多くなったが。

平成18年と昨年は熊の目撃、被害が急増しました。対策として、個体数調整をしています。銃器による威嚇が人里への出没防止になるので、再開を検討して

います。

問

猟友会会員の維持や新取得者への補助は。有害鳥獣被害防止事業補助金交付要綱の一部

を改正し、銃砲所持免許の取得費用と狩猟免許更新費用に補助金を交付し、会員確保を図るため、当分の間継続します。

答



オリに入った熊

【佐野坂村道の融雪施設不使用について】

当道路はスリップ事故が多く村としての対応は。

無散水施設ですが、稼働に係る経費は年間500万円と多額でありますので、平成16年から使用中とし、除雪作業と融雪剤散布を多くし事故対策としています。

重大事故の場合、村に補償を求められたら。

村としては、道路管理上の事故に対応するため、全国町村会総合賠償補償保険に加入しています。

事故対策としての自動融雪剤散布機の設置は。

無散水施設設置延長が360mあり、設置すれば台数が必要となりますが、散布で対応していきます。

国道無散水融雪施設と同様な施設にしては。

稼働システムが異なり施設変更工事が必要なので、出来る限り安価な対応策を今後考えます。

融雪剤散布機の設置は。

無散水施設設置延長が360mあり、設置すれば台数が必要となりますが、散布で対応していきます。

国道無散水融雪施設と同様な施設にしては。

稼働システムが異なり施設変更工事が必要なので、出来る限り安価な対応策を今後考えます。

【奈良井地域整備について】

地区懇談会や整備検討委員会で1年前から検討をし、検討委員会からは有効活用と整備計画の報告が提出されているが。

当地は圃場整備が実施された場所ですが耕作に不便なため、有効利用について委員会に検討を要請し、委員長より報告を受けました。

検討委員会報告を尊重し一刻も早く有効利用を図る予定です。事業導入にあたり県を通じ国の採択要件を検討していただいています。

【村長への提言提出について】

提言箱の設置場所が、現在地では利用しにくい人が多くと聞か。

現在、庁舎村民ホールに設置し昨年度20件ほどの提言がありました。多くの提言を提出していただきいたので設置場所は前向きに検討をしていきます。